

池下界限と「當り屋」さん

前にも書いたように、池下界限には古くから馴染みがある。高見町の「国鉄アパート」で小学5年から中学1年までを過ごした。いまは「セントラルガーデン」という豪華なマンションやレストランになっている。写真は地下鉄の池下駅から北に向かって撮ったものだ。昔とは様変わりしたが、最近とくに飲食店、飲み屋が増えてきた。まっすぐ進むと清明山、懐かしき名古屋市立女子短大(現在は芸術工学部)さらにはナゴヤドームに行くことができる。



池下駅から北に向かって歩いていくと、右手に「蝮ヶ池八幡宮」がある。急な階段を上ると高台にある境内にたどりつく。高見小学校の頃に、ここでよく遊んだものだ。お祭りの時には、階段や境内に屋台が並んで、賑わっていたことが思い出される。たしか例の「実験」をしたひよこも、ここの屋台で買った記憶がする。



八幡宮の手前に、馴染みの「當り屋」さんがある。

学生たちと行くときは夜なので、昼間に看板を写真に撮っておいた。「當り屋」とは、短大に勤務していた頃からの付き合いだ。千種区役所の前の屋台が最初である。寒い屋台での熱かんとおでん、どてなどが忘れられない。



屋台からこちらの店に移ってからも、仕事の帰りなどに足を運んだ。短大時代から最近まで、ゼミのコンパはこの2階を使うのが恒例となっている。いつの学生にも好評であり、これからも愛用させてもらうつもりだ。

(2007年8月19日 記)